

# 回収された食用油が、学校給食を運びます

## 名寄市が取り組む地球温暖化防止実行計画



家庭から回収された廃食用油からできたバイオディーゼル燃料で走る市学校給食センターの配送車が5月1日から運行を始めました。

「バイオディーゼル燃料使用車」と表示された配送車は、当面6カ月間の運行予定で、毎日約40kmの実証実験で燃費などのほか、環境問題への理解を届けます。

今年7月、北海道洞爺湖サミットが開催されます。その主要な議題は二酸化炭素排出削減で、温暖化による環境破壊は避けられない状況です。この美しい地球と環境を後世に引き継ぐために何かできることは…。

広報なよろ4月号から連載を始めた、今「地球環境」を考えるシリーズで紹介するほか、すでに平成19年度から取り組んでいる名寄市地球温暖化防止実行計画と、回収された廃食用油が学校給食配送車の燃料に活用されている実例を紹介します。

### 名寄市が取り組む地球温暖化防止実行計画

名寄市では、温室効果ガスの排出を抑制するため、ウォームビズ、節電、節水等に取り組んでまいりましたが、より実効性のあるものとするため、『名寄市地球温暖化防止実行計画』を策定しました。

これまで以上に温室効果ガス排出量削減に努めるとともに、燃料消費を抑え、経費削減に努めます。

**目的** 温室効果ガスの排出削減等を率先して行い、地球温暖化防止を図ります。

**期間** 平成19年度から平成23年度までの5年間。

**計画の範囲** 市が直接管理する庁舎などの施設及び車両等の使用で排出される温室効果ガス。

**目標** 削減対象は二酸化炭素

とし、平成23年度における排出量の削減目標を次表のとおり設定しています。(平成23年度までの施設の改廃に伴う二酸化炭素の増減を含めないと、実質10%の削減になります。)

平成17年度(基準年)	二酸化炭素排出量	21706トン
	施設改廃による増減	+977トン(4.5%増)
平成23年度(計画終了年)	二酸化炭素排出量目標値	20512トン(5.5%減)

計画推進及び点検体制 推進委員会と推進専門委員会を設置し、温暖化防止の取り組み状況、達成状況を点検、評価し、必要に応じて取り組み内容の改善、実行計画の見直しを行います。

## 廃食用油の回収にご協力を

4月1日から、家庭から出る廃食用油を拠点回収しています。ご家庭の廃食用油をバイオディーゼル燃料（軽油の代替燃料）にリサイクルし、二酸化炭素の削減に市民の皆さんのご協力を！



### 回収する油

サラダ油、菜種油、紅花油、コーン油、ひまわり油、大豆油など、一般家庭から出される廃食用油で植物を原料とした食用油に限りません。

### 回収しない油

動物性油（バター、ラードなど）、機械油（エンジンオイル、グリース）、パーム油、ドレッシングなど油以外のものが混ざったもの。

### 廃食用油の出し方

廃食用油は、天ぷらカスなどを取り除いてください。飲料用ペットボトル（1リットル〜2リットル程度）に9分目程度まで入れてしっかりとふたをして出してください。紙パック・缶・ガラス瓶は漏れ防止のため使用しないでください。回収施設に設置している回収ボックスに入れてください。漏れの防止のため、なるべく衝撃を与えないように入れてください。

### 廃食用油拠点回収施設

- ・市役所名寄庁舎 大通南1丁目 ☎01654 2111
- ・市役所風連庁舎 風連町西町196 ☎01655 2511
- ・総合福祉センター 西1条南12丁目 ☎01654 9862
- ・市民文化センター 西13条南4丁目 ☎01654 2218
- ・保健センター 西2条北5丁目 ☎01654 1468
- ・風連町福祉センター 風連町南町85 ☎01655 2531
- ・内淵最終処分場 字内淵 ☎01654 1598
- ・風連最終処分場 風連町中央768 ☎01655 2004

廃食用油の受入れは、各施設の開館時間や曜日により異なりますのでご注意ください。

事業系で廃食用油引き取り希望の場合は生活環境課まで直接お問い合わせください。

お問い合わせ 生活環境課 廃棄物対策係 ☎01654 2111  
1（内線3123）

## 廃食用油再資源化協定

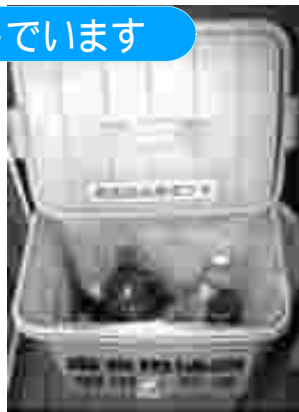
今年2月、市では㈱フジトラックスと㈱とみながとの3者で協定を締結しました。協定の内容は、公共施設から排出される廃食用油を同社に無償提供し、その提供量の20%をBDFとして市に還元してもらうもので、市にとっては、今まで費用をかけて処理していた廃食用油を無料で引き取ってもらうとともに、所有するディーゼルエンジン車の燃料費削減につながります。また、二酸化炭素排出抑制による環境保全につながる取り組みとしても期待されています。

## BDFとは

地球にやさしい軽油に代わる燃料のことで、Biodiesel Fuel=BDF（ビーディーエフ）と呼ばれています。地球温暖化の原因にならないことや、天然資源の節約ができるほか、排気ガスがクリーンなことなどが注目されるBDFは、使い終わった天ぷら油などから生まれ、ディーゼルエンジン車の燃料として活躍します。

## 回収が順調に進んでいます

市内の公共施設8カ所に設置された回収ボックスで、廃食用油の回収が進んでいます。



廃油浄化精製装置から1行程で200リットルのBDFが生まれます。



BDF製造



学校給食の配送車に